



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「景観計画の実践 事例から見た効果的な運用のポイント」



今号のおすすめ
ライブラリーは
こちら!



現在、景観分野の基本法である景観法が制定されてから約18年もの年月が経過し、多くの地方公共団体が景観行政団体となり、景観行政の裾野が広がることで、まちづくりに大きな影響を与えると同時に、制定前にはなかった景観まちづくりの新しい動きや、景観行政に関する様々な課題も顕在化してきています。

本書では、景観計画の運用の現状や取り組み事例など、評価に関するデータの収集・把握のために、景観法に基づいて策定された景観計画を主な対象として、人口規模や地域のバランス、特徴的な景観行政の取り組みを考慮した上で、全国の景観行政団体から50団体を選定して、担当部局に対してインタビュー形式による調査を実施しています。収集した内容に基づき、運用の特徴・成果・課題を分析するとともに、様々な課題を抱えている景観行政団体に対して、課題解決に向けた今後の新しい展開や、景観計画を効果的に運用する方法について紹介しています。

景観計画に興味を持っている方、実務として景観行政に携わっている方は是非、御一読ください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

安中市 中里 初美



中里 初美さん



講座の様子

令和元年度「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加した当時は、現在の都市整備課に異動したばかりで、業務にも慣れていないうえ、「ファシリテーター」という聞き慣れない言葉に、不安と緊張でいっぱいだったのを覚えています。

研修では、時間配分を考えながら、グループの意見を引き出し、合意形成へ導くことへの難しさを痛感しました。と同時に、様々な考えや立場からの意見を聞くことができるなど、とても

貴重な経験をすることができました。時には、問題の趣旨がきちんと理解できず、誤った認識のままワークショップを進めてしまい、途中大下先生などの助言によって気づくということもありました。そこから制限時間ギリギリで急遽発表内容をまとめたことなども、今では良い思い出です。一日の研修が終わる頃には疲労感でいっぱいでしたが、終始和やかな雰囲気の中で最後まで受講することができたのも、参加された皆さんのおかげだと思います。

新型コロナの影響で、ファシリテーターの認定授与式が中止になってしまったのはとても残念でしたが、この研修で得た知識や経験を、今後の業務に活かしていきたいと思えます。 ※パートナーネットワーク講座は令和元年度で終了しました。

マーチィの掲示板

持続可能な地域を作る未来共創ファシリテーター養成研修の第1回目を開催しました!

群馬県の新・総合計画(ビジョン)では、20年後に目指す姿を実現するため、たくさんの「官民共創コミュニティ」を県内に育てていくことを掲げています。

その具体的取組として、県では「未来共創ワークショップ」を各地域で開催し、地域住民の皆さんと地域のありたい将来像(ビジョン)やそこに向かう取組のアイデアの練り上げをしています。今年度は、甘楽富岡地域、利根沼田地域、桐生みどり地域の3地域で実施します。

そして、この「未来共創ワークショップ」の実施にあたり、ワークショップのファシリテーターとして参加する県と市町村の職員に、第1回目のファシリテーター養成研修を開催しました。第1回目は「SDGs de 地方創生」というカードゲームを通して、SDGsの考え方を地域の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について学びました。

このゲームでは、自分の行動一つ一つがまちに与える影響を考えながらプレイしていく必要があり、地域の様々な課題は関連があることや、他の参加者たちと対話をしていくことの大切さに気づかされました。

カードゲームから得た持続可能な地域に必要なものの気づきは、次回以降のファシリテーター養成研修や地域での実践に活かしていきます。

